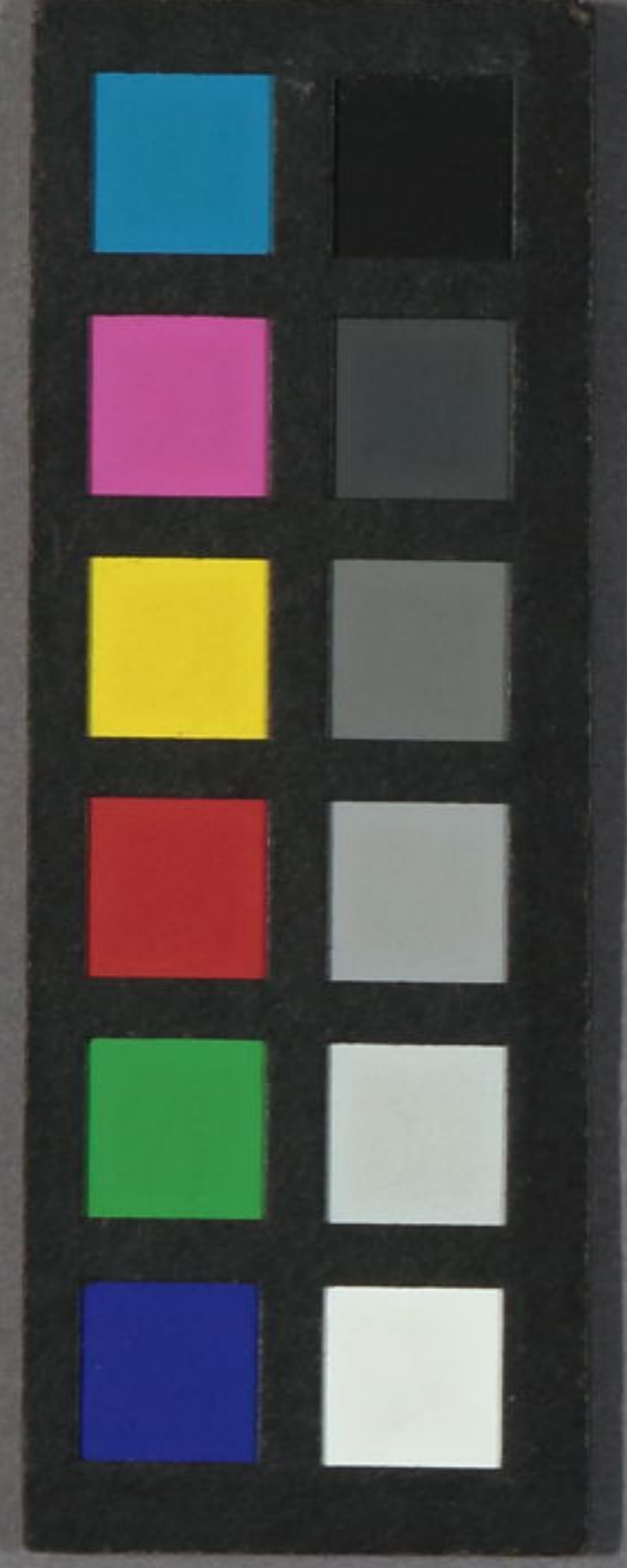


俳諧人名報初編

下



東都神田於
玉ヶ池
号谷鳩東寅居

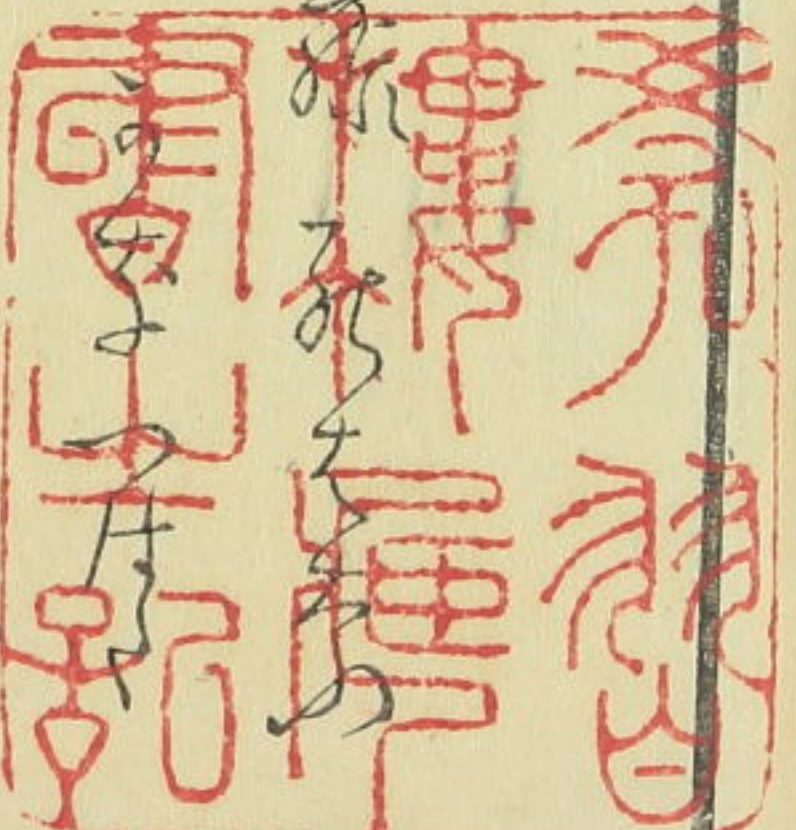
東都赤阪
丹後阪之上

田喜養

護



坂下奈々々草のささみ戸
ささみ草の起ぬるちた奈
降しうれしう時白くおと名
一日ささみささみ川系と出



太白堂 孤月

梅ささみ刺日うつささみ
草草をささみし川のぬり
はささみ把ささみささみ月
ささみささみささみささみ

東都久保町
但馬長屋

暉雪崖点鶴

おとろしきもや
寒うらさきく
暮のさきく
境平さきりのき

小村 吳明

京都畠之小
路御池下
行脚

寅とつら
解く月のさきく
午内暫時
ししうん降

菱木 梧成

下総香取郡府
馬村住
菱木弥兵衛

踏あつら
ゆを返けり
み
ぬくい日の

直 雨 舞 孤 来

常陸湖来
和泉屋

恙那
初うは
名月のま
日取越し

東都神田銀
治町二町目
不動新道

武州川越領
莊井村
薩摩屋兵衛
隠居

柳隣菴園庵

遠くへさうついでさそ花 幸夫
菴のけさうおのむみお知又さ
ししら森の白なう中にはさき川
か〜魁とさかんさきあははらさ

拾 雪 湖 山

そ所阿々さう〜とてさささうの
沢山さうちさうけもさー 芥子のさ
有明やた〜のめ〜縁と天の川
崎さうささう〜さささく也さこのさ

下總佐原本宿
上仲町

奥州白川郡
白川
川瀬傳三郎

宮 澤 江 月

うあされさ〜さ〜人〜飯の帯さ
田無さ〜もさ〜人〜さ〜か〜は〜さ
さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ
さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ

五 徳 屋 五 徳

橋さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ
さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ
さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ
さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ〜さ

コ

三十一

東都瀬戸物町
秋山平右工門
号鏡浦菴

常陸水戸小川
三町産
下總押砂村住
熊野屋啓藏

東都浅茅
原之住

東都本町三
町目
小西忠右門

正 律 子 音

之々もをうくわむの言 佛を
汗下眼を志らるる 凡々り涙之の浦
秋をみつひちうらぬらん 撞くくを
山茶花や歳日なきも心 所々く

樂 高 固 風

而多これのふら止すくも
魚の群のくはくはまあやうら 芥子
糸のうら一日よけの海く 小魚の群
山茶花のうら 極すくや 畑のうら

六 花 菴 古 草 立

海苔 菴菜に多なき 汐やまも
粟のも 柿 だ ま入 柿の地子 菴菜
法 點 や 何まもくくを 流りの 花
おまや ねく けく ぬく けく ぬく

江 廻 屋 小 雨

のん 癪の 狗あそく けろく 柳の
葉子もくくくく 草すくくくく
けの 針もくくく 柳やくくく 秋
さくく 川 京水ハ 雲 海に 流行す

ユ

三十一

三十一

下總市川
升屋彦四郎
号五醉堂

武州草加宿
竹内
大阪屋在藏

東都浅草
官庫勤士
号青亭
青木彌右門

羽州米澤西
大塚村
高橋九兵衛

良齋小井

とちりくさくちりくさく表うくめその香
あかえき月さくしんくのかを新あが
葉阿もさくしんくを雪よきふお跡多
若き切とちりく子や秋起の花

具道齋吳石

客みさくちりくさくさくさくさくさく
永掉みさくちりくさくさくさくさく
さくちりくさくさくさくさくさく
さくちりくさくさくさくさくさく

皎月舎江賀

是性くさくさくさくさくさくさく
はくさくさくさくさくさくさく
さくさくさくさくさくさくさく
さくさくさくさくさくさくさく

蕉圃亭古翠

蓬葦のさくさくさくさくさくさく
ちりくさくさくさくさくさくさく
さくさくさくさくさくさくさく
さくさくさくさくさくさくさく

コ

三十一

羽州秋田藩
東都三絃堀
吉田氏

東都小川町大
銀杏之邊
丹園藩湯淺氏
号清風堂俳人
閑人

陸奥盛岡大掇
四日市 菊池氏
号五天堂
古里屋平助

東都龜井町
松塚氏

静月庵古柳

はるけき新しうあつとあつとわづれ者哉
こころにたそがれちりけりきしのみ
池水のうらみさうしきみみ月
おとよきあられ雪の浜改中江

其月茶 顧曉

こころにゆきしきききき ねたて
こころにゆきしきききき ねたて
あちちの雪のさうさく月日
あちちの雪のさうさく月日

謀 莊 五 丈

こころにゆきしきききき ねたて
あちちの雪のさうさく月日
あちちの雪のさうさく月日

可 口 園 英 父

あちちの雪のさうさく月日
あちちの雪のさうさく月日



東都小日向江戸
川中之橋
青木氏

古多津一層江丸
辛皮のふりしるもる日あけ
鳩あふりしるもる一子あ
舞あふりしるもるに舞あ
神の灯と魂の灯臨あの一層

北斗志居英山

七燈をひらきしるもる
大汐やあふりしるもる子
鬼灯をひらきしるもる
い余講あのかれを自恨を

東都浅草
龍澤山三郎

東都市ヶ谷本
村尾州御屋敷前
萩原五郎三郎

秋原 詠 歸

秋ををふりしるもる
秋ををふりしるもる
秋ををふりしるもる
秋の巻しるもる

車仙子 丁知

あふりしるもる
あふりしるもる
あふりしるもる
あふりしるもる

東都神田川
跡松么齋又
鯉退堂

東都御藏前
森卯氏桃磯妻

東都小傳馬町
二町目京師之
人 三品唯一郎

東都鍋町
田中為吉

東都數寄屋
橋御門外
鶴屋善吉

楓 西 屋 禎 女

新の藤をくぐりかきおとすに
水邊に下りしに何れも和歌の種
をよこたふしにまきしを秋の
枯るわりのむくやさるる柳

ハ 朔 菴 田 為

吟はもや肩のうしろ角力の
堀川の流るゝ水多る志けり柳
もきふし田畑意の申の
寝禰の紫花をさるる

苗 代 亭 田 為

くさひきの小煮り何れも
思ふ月の表にみ起る柳を
刈縮や時をさける
汐のひのきもあつち

淡 雪 真 島 義

淡雪をちこちと
かまきりる柳掃き
秋のそ柳 日つれ
若るるやさのく

ニ

東都神田元岩
井町
遠州屋金兵衛

諸交養田正

門前のとれさうり柳の柳
よめ人をさるゝあつり田植時
帆をさしけて舟を押し二百十の子
あはれさるゝ流さうり小作の早あまが

桑中奔画之

さるの舟さうりからまあやあまが
い涙さちの夜あま引けさうり
かささうりもさるゝあまのあまが
さんあまあまあまあまあまあま

東都横山町
二町目
印判師
吉岡由兵衛

萬年會真高

舟さるさうり寝るさうりさうり
さうり一人寝るさうり押さる紙帳
寝るさうりさうりさうりさうり袖のた
あ人もあまあまあまあまあま

富田哲高

あま入りあまあまあまあま
閑子さうりあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあま

北總香取郡
舟越邑
宇井求馬

東都産
歴遊于南北總
業於詩畫

テ

三十一

越後新瀨
鴈金屋清兵衛

東都本芝
別號 流霞館
俳諧佛 卧佛
阿彌陀丸
書 画

北越絲魚川藩
住于東都青山
穂田之別邸
河合東馬

東都御藏前
守邸氏
號抱壘又無聲

植 芥 鼎 湖

初素中 蕭索のこころ 吟子 小
うはるる 掃くれぬ 巾の 後 芥
こころ なるき 桐の 葉を
冷心の ちり 出さる けり 出

蘆丸舎 二世 真山子

峰の 夜 思ひ 減さる けり
後 扱と 車 くるま けり 日 傘を
痛 ぬく こと 思ふ ぬく こと 思
ち けり けり けり けり けり けり

一 結 軒 冥

観る こと 思ふ こと 思ふ こと 思
部 へ 来る 葉も けり けり 牡丹の
押す こと 思ふ こと 思ふ こと 思
浮 森 なる こと 思ふ こと 思ふ こと 思

華 堂 天 愚

宿りの 目 下 けり けり けり けり
塔 へ くる こと 思ふ こと 思ふ こと 思
葉 けり けり けり けり けり けり
是 氣 や けり けり けり けり けり けり

あ

京富之小路
御池下ル

常陸江戸崎産
小林平七郎國學
六樹園雅望門人号
緑樹園 獨立俳諧

俳 儂 堂 新 陽
孫の足下踏ううふやねみろち
おまのちまよやううあふしきうう
おまのちまよやううあふしきうう
おまのちまよやううあふしきうう
おまのちまよやううあふしきうう

立言真 櫻 所

新 木さくさくさくさくとちあけりくち
良かーさうのんさうさうさうさう
はさうさうさうさうさうさうさう
世のさうさうさうさうさうさうさう

七十一

あ さ

京東山
双林寺中

東都小石川牛
天神下 楳邑氏
甲子菴 瓢艱齋

南 無 奈 倉 乳
ゆきかぬを押出す砂みくく
毎百合かけけけけけけけけけけ
ゆきかぬお四七舞えしし雨り所
岩さうさうさうさうさうさうさう

南 無 奈 倉 乳
ゆきかぬを押出す砂みくく
毎百合かけけけけけけけけけけ
ゆきかぬお四七舞えしし雨り所
岩さうさうさうさうさうさうさう

三二

播州須磨

くくひすはなをうらむるをよして羽田を
杜鶴ふまうら響のくくしろや
之日月や月し暖簾の魚を所
しくくや歎つくる戸の遠河

禎 屋 西 月

七十九

安藝廣嶋人
村田只一号屈伸
舎又松花樓
東都霞ヶ關邸
隔年勤番
廣嶋竹屋町鷹
野橋

海傍も根鞆もけしけしけし
直をまきくもい中かきる松魚が
きくく子ぬる鐘あり月々
おはともいふもつるもきく時向く

屈伸舎 三 葛

尾張名古屋
堀詰町
井桁屋治左門

井 沙 鷗

えきうくくぬえきくや一足那
草のくくし 蘇のきくきく
明月の葉のくくくくくく
くくしと松継屋くく田く

東 梓 菴 揮 柯

くく追やおきくくくく
かきくくくくくくくく
くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく

東都 泉橋
直道 第三街

十

東都深川
平野町

一せーたのけさうおいふるはるは
晴天也あえくしなす中のは
陽うけさう草花は紅くあはるま
あすのや残る山りのるり多た

輿屋杉露

沙汀堂吐賞

と程さうあつて用のあるは少
牡丹見やあな吾るこしきあふ
孟とひきと時や音をもと利
山越るらういふわあふさうさう柳

江戸柳橋平野町
伊勢屋兵吉
号江民門松子

東都西久保
井上清七
号竹樹軒覺睡

雪水軒茶靜

と程さうあつて用のあるは少
牡丹見やあな吾るこしきあふ
孟とひきと時や音をもと利
山越るらういふわあふさうさう柳

臨泉亭山松

叶宿を何屋うらなを夕うあふ
苔のふち細くしとるりあふさ
月のやあふさう一軒あ
あふさうあふさうあふさう

東都深川内

十

十一

東都馬喰町
杵屋藤三郎

五ノ本 藤三郎

草やとちりも三しのの用品
神の焼のくさくのくさくの
日におりのさめを提や焚の花
善の伝葉おんまうを啼あさる

一 然 高 三九

武州入間郡北
之所谷
撃釘道場
吉野氏

正月や遊々みそも浮の如いな
さしきくはかからさしきくはか
くまきさつあくらうつりやまとのま
あらのまははららのやに教へけし

東都横山町二
町目川村氏
日野屋三左門
号正風堂又俳
阿弥

閑月茶山曉

く免いさやこおははらるる餅
永、穿るる尿山草くしはまき
明月やとほぬくはぬく人の秋
さしきくはかからさしきくはか

又云 舎 草 延

何やとねくもあつしぬり柳
るやみやとねくのあをまのまの草
流よさるるあつしぬり柳をさくを
いさるるあつしぬり柳をさくを

東都塩町
森任氏
上總屋

東都神田
今川橋
木村定次郎

貞幹齋 西峩

起るもくさの雲のまは 柿の香
母を思ふ眼のちのちのち ひとと
啼ハ川の向ふそ 河をよみ 夕
かの心を齒を せうくををり

北堂 涪柿

さよりもねしきしき じきさるの月
清くくさつて 雲をさみく
暮や木をたふす 日のちのち
枯くくををしき じきさるの月

江戸新場
金澤屋吉兵衛

白泉亭 酒人

とよまきく川にさるく
六川のくねまきく 日やあま
くふたのふあけを けさの秋
まきさのくくく ぬくぬく

武州高麗郡
高倉村酒造出
店木田氏
日野屋藤兵衛

鮮 彩亭 巢山

くさくさやのちくく 別言の坪の内
山極のちくく 徴白の柿
水にもつるあるくく 月の
世心くく 温石のくく いろ

東都油町
佐藤吉兵衛

武州新里住
戸谷氏
届所上州藤丘
和泉屋新太郎

上州吾妻郡
伊勢町
根岸権六

下總水海道
豊嶋屋治兵衛

下總香取郡
志高村
高木佐右衛門

濤石貞雄

うきうきものつらさうきうきうき
井の端うきうきうきうきうき
折角とみけうきうきうき
起卧のつらさうきうき

謀花き九谷

うきうきうきうきうき
植うきうきうきうき
うきうきうきうき
うきうきうきうき

豊齋山馬

初年うきうきうきうき
うきうきうきうき
うきうきうきうき
水俣うきうきうきうき

我 國道 雲兔

ふ川うきうきうきうき
蟬うきうきうきうき
うきうきうきうき
本うきうきうきうき

東都改代町
飯嶋氏

信州佐久郡伴
野左大澤村
市川和作
号槐園

駿陽沼津藩
佐々木正五郎
号大圓菴

東都神田紺
屋町二町目
岸村乙五郎

桃 菴 草 芝

舟底やとちれくくいのひかきけ
河く先く山河く断や空くまき
もら秋や多くうさくし海の春
一月の苗まきく咲くくあくのく免

菴 唇 舍 桑 葩

いさ頼む花く河くちく志空く山
ちくきくはくうまわくくくくま
浅くくくくくくくくくくくく
唐崎のねをえくまきくくくく

湛 兮 舍 草 舟

掛 翹く庵くくくくくく
孟のふくくくくくくくく
松の葉の黄あくくくくくく
月くまきくくくくくくく

林 秀 庭 山 風

くくくくくくくくくくく
秀くくくくくくくくくく
部 存かくくくくくくく
くくくくくくくくくくく

ナ

八十一

出羽米澤小村
呉服店
竹田清五郎

竹隠左琴

延喜の子の鼻紙入一陸月
那儘くしきり那酒湯くさく
菅蒲が頬かたつさきり
えんさる切節くさ
るれさきりあさか
神世月

前田茶六

茶のあやみかひくさ
を赤の氣岸一
つさるる降出し
ぬ正面より映出
しそり秋の夕
枯さきりいさ
るる茶六

下総香取長岡
村前田孫左門

八日堂山鳥

ぬりさきり掃
さきりあさか
るる移りつさ
り山邊より
杖より自り
り村やさきり
月のみさきり
出さ

東都浅草
竹門住
釋春泰

長戸山史

降さきりさきり
あさかるる
温さきりさきり
のあさを巡り
入梅の中
あさかり
あさかきり
さきりさきり
あさかきり

武州二合半領
長戸呂村伊助

ナ

東都元矢之
倉任
号舜泉菴又
鍊齋

下總源田郷
小阪縫殿之介

東都小傳馬町
二町目
宮邊氏

本居東都湯
嶋切通町安居
葛飾寺島村
小森杉二

龍尾園 在古

くろいさやまにうしろし馬賊のす
みまうりありのころち阿ままみ
あぢやがまのこれぬ 瀉の版
あめらちか馬をとも免るを跡る

三益庵 巢三

そまのやけいしれきちよまの
ねのりしう女房おのりし
たしうい道いまちう川壺野
十月やあひさしう山阿は

湖心亭 左岳

うけ合しういしう村さ
降るのきうあしう
岸の茶ういしう
あしういしう

水溢居 杉二

あしういしう水の月
あしういしう水の月
あしういしう水の月
あしういしう水の月

サ

八二

東都牛込
光照寺現住

卓阿酒入
平押不薬てけわくさあらの祭
咬の舌あけゆる粉縄うね
縮妻や水へく運ハ敷白し
かゝるあおみへるり少くもあ

湖内堂三巴

さゝらちの中やる部のる。鼻
赤の酔さほくつうあ紫くけ
二と魚んまきくさりて戸さけけ
椀側へ使まはしてそくのそ先

東都神田明神
前帳面師利八

清風亭其君悟

きくのあまひくらきくすしりあ
我新のそらさくあまの甲くこく
啄木をみくらぬ鳥をうく夕日茶
くきくく山葵醬油わさき

南瑤 七粟

樽さくや龍屑まきくその自り
すししてわけあけわう橋のそく
うさくそくその酒もらあすま
未うれやさくあへんか帆のけり

東都神田佐
柄木町

江戸新場
魚問屋
三崎屋甚兵衛

二十廿

き

東都芝田町
六町目豊嶋氏
号坎窩

のうまふりまきりれきりかきりゆり
ひきりめりけりかきりまきり田植り
まきりやまきりゆりあきりゆり
まきりまきりまきりまきりまきり

田 誓 久 減

東都油町
澤田喜兵衛
号冰心社

まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり

松 立 井 其 年

東都小傳馬
上町代地
屋
語竹葺

まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり

露 仙 子 其 咲

近江湖東辻村住
田中喜兵衛
下総市川出店
又云釜屋

まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり
まきりまきりまきりまきりまきり

湖 東 近 水

き

秋田別藩東都
濱町矢之倉下
郎 佐藤氏
号 孤腋齋

三餘堂魚明
くんぎんをうけつたては梅をみまはさ
蟬 鳴やわさりののろろ 後をさ
萩のふおちち 戒をあたれけり
雜魚 引か小細のまはるこまを

芳 室 初 之 也

東都本町二
町目
小林圓藏

風うきのまをまて 芳をうけり
ゆきうをまて ちん せき 交脚を
へんを月一日のまを 阿し 如
移り 畫をうけしを 交脚を 掠の月

蔭 涼 園 虚 白

江州土山
常明寺
羅樹園煨半
隱居所

引きまをまて 提也 柳 柳
阿知 柳のまを やちいさる 阿 阿
糸を方戸おけり 柳のまを 柳
糸をまて 柳のまを 糸を 糸を

桃 林 舎 半 也

東都小網町
高崎屋長平

浩然の氣をまて やり 柳を柳
一 取酒 まて 熟の 浩 柳
糸 糸 糸 柳 糸 糸 糸 糸
醉 花 月 柳 糸 糸 糸 糸 糸

キ

乙一

六十九

東都神田堅大
二町別号兵晋
齋又規經窓準
繩菴石川彌三郎

石川歸風

其花水色をせりしりききりきりきり
社名をぬきしりきりきりきり
ハ新や屏をすけき鯨汁
又きりきりきりきりきりきり

青菴器長

ひらりしりきりきりきりきり
日らりきりきりきりきりきり
酒とれた人もあつてきりきり
あつてきりきりきりきりきり

東都神田
岡崎氏

東都本所堅川
之末中川
篠田氏小兵衛

如羅架紫風

正月やこのまもきりきりきり
きりきりきりきりきりきり
きりきりきりきりきりきり
きりきりきりきりきりきり

池工菊所

あつてきりきりきりきりきり
きりきりきりきりきりきり
きりきりきりきりきりきり
きりきりきりきりきりきり

伊勢山田中町
池上衛守

キ

九十一

大阪北濱一町目
半鐘下
河内屋東作

林 祇 白
ひのけくろくえんまのりあな中
志みく 免とまの秋さるなる
縮まやまのりつと水たきし
炭次りきやのりかき起りけり

應 高 御 風

出羽秋田保野
川端
秋山守吉

眼のゆきもせらりのかんきふよき
角力丸のこころをさへし
梶の葉や角もさるのさるけり
海しきりさむと毎のりつと

蛙 都 舎 籬 水

上毛倉々野宿
大黒屋清右衛門

鉢植みあさあしよさなふりか
夕すみみさるるりしのりあけ
晴歌や福あけの鳥の子きりし
さつとんつとんととととととと

鳥 静 高 具 英

武州草加宿
舟橋氏
笹屋長左門

さるるるるるるるるるるるる
交り月すはるるるるるるるる
うの静るるるるるるるるるる
出えり加岸さるるるるるるる

キ

カ

武州草加岩
野嶋彦左門

二柳 富 其 逸

くまの煙やめくくはさるる人の身
まの戸やめくくはさるる人の身
之日月のめくくはさるる人の身
を笑のめくくはさるる人の身

廿三

出羽最上楯岡
原田吉五郎

原田 吟 妻

よるれもひはさるる人の身
くまの煙やめくくはさるる人の身
燐掃やちよつこくはさるる人の身
吃やりとちよつこくはさるる人の身

秋田別藩
東都濱町夫之
倉下邸佐藤氏

案 天 齋 其 雄

あまのこころもさるる人の身
すけのこころもさるる人の身
えんさるる人の身
まろくしー 毎のこころもさるる人の身

東都瀧山町
上總屋徳次郎

福 沼 亭 菊 基

まろくしーのこころもさるる人の身
社くけのこころもさるる人の身
七夕やいつのこころもさるる人の身
山命清や案合んたまのこころもさるる人の身

キ

廿三

下総香取郡
志高村十三石
高梨長左衛門

紀州尾鷲産
江戸南茅場子
鈴木久兵衛

東都駒込追
分町
高崎屋長左衛門

東都芝山下
屋敷麻布一
本松住
千守之哀婦

古 茨 真 新 つる

く免法もや時々南斗も塩きく
時多るおそくうとねみち
山口おのり子隠寺やうき紅糸
さめらる中へうる戸部菜屑

大 素 軒 旧 晁

つと字やさく履をまてく舟の
終る節お並んてあまふま
衆死くまんとし毒の跡み
塩とくくばくく海ぬ枇杷の

枇 林 会 牛 席

流出ししよまあつ方り刺
山山おくまきり入きす
高土お流るる一糸月十五
重箱もくくく陰表のと

岡 崎 綿 子

人新く吃く考るさくさく
おそくをゆきく高代や高
延きのおももり一焼もや
えんやの男の子を刺定

キ

九十一

葛飾新驛
中川屋在七

葛飾竹街住
釣窓渭水之男
号柳軒五峰又
此竹園
書名青池堂

葛飾宮戸川
之上竹街住
佐藤氏萬醉
一醒之男号東
畢帶河樓

東都芝横新
町号梅々本
芝浦漁隱

中川真音翠

このころはしらけゆく月影も
きり月不世と云帰る月影も
新 拾いの影をよめる中川真音
寺のふささうに残る中川真音

二世 釣 魚 水

かりありとまきさう際さ
御き末にさうりとまきさ
つれらうとえきさきさ
山茶いやはるけさうひく茶う加減

言 峯 舎 魚 鳥

手こまき月のをみん 白魚網
解くさうらうらうらうら
さう用いさうらうらうら
さうやうらうらうらうら

旭江館 魚 冠 子

あけの館にさうらうらうら
群る館にさうらうらうら
月やさうらうらうらうら
河原さうらうらうらうら

キ

九十五

九十五

長崎油屋町
久松氏隱居

羽州秋田藩
武陽浅草島
越郎佐田氏

下總葛飾郡
本所堅川未
中川
丸山傳次郎

北越與板藩
東都住
佐藤波之丞
正風遠州流業活
筆所岩齋一濤

九月堂 菊也

めくく内もつられとちふさうとあつて
京をさへかたうを田植のうさひ
うさひもつら道のうさひ
うさひもつらくはれつり色古大痛

腫 齋 季 清

あゝうわひをさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさう
門先へ井のえをさうさうさうさうさう

竹 裏 菴 際 巖

菴さうもたつりさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさう

阿 麟 樓 魚 交

さうさうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさう

キ

北越與板藩
東都住
前澤竹三郎
号柳脇館

東都大傳馬
塩町
森 安兵衛

東都豊嶋町
一町目
清水嘉右衛門

東都官庫小
揚町住
青柳氏

效竹庵錦糸

河のさきよる鳴くはる 足ある 雁をさる那
河をさよりにやうとくさう水まらうるを
ひしよふとて実さるるさるるさるるさるる
さうからのさるるさるるさるるさるるさるる

稗野会吟巻

白の中梅お井のけのえしけり
ちりりりりりりりりりりりりりりりりりり
あまうつりりりりりりりりりりりりりりりり
入るるるるるるるるるるるるるるるるるるる

翠松堂 其標

茅のさきよる鳴くはる 足ある 雁をさる那
河をさよりにやうとくさう水まらうるを
ひしよふとて実さるるさるるさるるさるるさるる
さうからのさるるさるるさるるさるるさるるさるる

夕陽年 輝水

夕陽年 輝水
河のさきよる鳴くはる 足ある 雁をさる那
河をさよりにやうとくさう水まらうるを
ひしよふとて実さるるさるるさるるさるるさるる
さうからのさるるさるるさるるさるるさるるさるる

キ

東都本郷元町
朝比奈鉦太郎

五御茶 其芝
又とつれたひあつたて
つらんつらん
空のきんちちいさく
くつかぬきつりつり

寒 嶺 菴 明 花

くさつれたひあつたて
夕空をらんらん
子来あつたつた
猿のつらんらん

め

信州水内郡
蟹澤村
青木重三郎

八 菜園菴 竟 尼

くさつれたひあつたて
菜園をらんらん
水多かきつりつり

東都西國
藥研堀

一 巢 謝 寺

くさつれたひあつたて
吹着をらんらん
縮妻の中流をらんらん
まなけつらんらん

東都村松町

し

武葛西柴又村
鈴木安五郎

東隣扇松行

かゝるいふさうしやまゝのさうさうまゝの鏡
つらなれは海苔とて船中時々の
さゝしとてさうさうさうさうさうさう
おのゝの何んぞのさうさうさうさう

此中菴春歌

さうさうさうのさうさうさうさうさうさう
さうさうのさうさうさうさうさうさう
さうさうのさうさうさうさうさうさう
はさうさうさうさうさうさうさうさう

東都小舟町二
町目新道号
塙齋椎葉舎

鎮月菴松欣

さうさうさうのさうさうさうさうさう
さうさうのさうさうさうさうさうさう
さうさうのさうさうさうさうさうさう
はさうさうさうさうさうさうさうさう

東都浅草南
三間町

蕉 蕙 秀 郷

おひさうさうさうさうさうさうさう
水さうさうさうさうさうさうさう
明月のさうさうさうさうさうさう
松のさうさうさうさうさうさうさう

東都浅草茅
町一町目
林 安次郎
号 萬年菴

東都神田鍋町
高柳藤五郎

高砂亭神孫
松山のらうしやうとておれをば
山川の中をひらきぬまをみ
半間の河もわたりて月のお
多分はしる山の日を待つ

桑海茶如鵬

東都元濱町
江原氏

苗代や孤悲の火をわくく
後をくく日くくおれをきく
おれをきくおれをきくおれを
おれをきくおれをきくおれを
おれをきくおれをきくおれを

寛々 蕃 城

東都産
行脚

乃心くく無くくおれを
よん中や扉あけおれを
おれをきくおれをきくおれを
おれをきくおれをきくおれを
おれをきくおれをきくおれを

樵 尊 田 明

江州八幡出店
下總水海道
釜屋嘉兵衛
号御風軒

活字のくく茶味をくく
五月の白やとくくおれを
おれをきくおれをきくおれを
おれをきくおれをきくおれを
おれをきくおれをきくおれを

三

精

九

尾張五百羅漢
前 竹村氏

鶴 菜 風 也

江ノ一ありく 枝ましし 女の心
眞をとりくも 心えきり 日あつる 菜葉の
夕鳥や 人お出入り 鶴 菜 風
ささめくし 心えきり 女の心 菜葉の 中

蓬 蕙 史 干

河 ね せ の 花 へ くる の 心 へ 菜 葉 ぞ
玉 六 日 供 へ くる せ 後 の 柳
柳 菜 蕙 ぞ ち つ ね に 柳 菜 蕙
る 中 へ し 子 木 石 門 へ け け け 菜 蕙 ぞ

東都芝切通金
地院境内号
梅壺中又蘆菴

千 来 菴 思 齋

え 々 和 家 ぬ ち へ くる 菜 蕙 ぞ
ち ち ち ち 樹 ち 色 ぬ ち へ くる
月 の よ ち 宿 柳 ち ち ち ち 菜 蕙 ぞ
花 活 ち へ くる 菜 蕙 ぞ 大 三 十 日

蓬 蕙 井 峻 路

畑 ち ち 女 蕙 ち ち ち ち 寺 ち ち 門
ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち 月
ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち 菜 蕙 ぞ
山 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち 菜 蕙 ぞ

東都浅草
雷神門前
山彦

東都木挽町
八橋竹五郎

シ

東都四日市
松屋善八

尾張京町筋
益屋町
錢屋喜兵衛

下總多古
五屋利助

今時在江戸翠
喬上仙雀書堂
中

松盛堂 松社

さききみといふりのあまきり梅のふ
盗人あけけけあめ 白の帳のふ
ふり秋のふりきりしら後不志意
本歌をき一節みちや せりの歌

伊藤 西后

ニニころもまをきしほりきりあるまきり
鉄底のふたをけの子 唯ひりり
堀のあ根こしを周外せむを
ころをきや料記しきりやき青貴

備 真之桂

あまきりしきりきりり流きしけり
え残りのをあまをひりり流し
新良のあけけ梅をききりり
貴流くのやしきりりしきりり

赤木 軒壽月

初もや江石のふりきりあめりん
入はききりしきりり流きりり
明月やまきりきりり流きりり
ふりりりのあまをきりり煤拂

シ

下總上之嶋
號 蓑輪田菴

半江居子抄
ゆきみ、あめけりて、あやも、あやみけし
降き、あやみけりて、あやみけし、あやみけし
あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし
あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし

孫 新 老 屋 紫 笠

東都芝魚籃
大悲閣前号
空巢

一、あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし
あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし
あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし
あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし

羽州秋田藩
東都三弦堀邸
住 橋本氏

具 善 舎 從 之

あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし
あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし
あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし
あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし

田 中 松 翠

下總葛飾郡
市川村金屋

あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし
あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし
あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし
あやみけし、あやみけし、あやみけし、あやみけし

奥州石之巻
醫業松本玄悦

東都靈巖篤
濱所
木屋茂助

東都神田
松枝町
七子師
山川安五郎

羽州最上漆山
村半澤久次郎

折るつししつ梅くこくや坂の也
提きりふまやうをたえゆら様くを
字むしと所くま道流けみま
長くも流くのをさる紙云を

松 車 二 晶

寶 州 園 真 騏

折す時みあ結うりてゆく梅えを
人先く起てえとあや幸一のふ
二三艘なさんて船の於て御を
末かししやかふるを運りては

忠 々 彦 秀 之

るふおや松まけこのけさう阿奈
水きうらぬ紫くあゆる 是く柳
くゆかやま末のく水の為紅紫
柳りあおあな手かむかす

半 澤 二 丘

口上のその族扱も御代おま
ゆきし松を採りてあけけり後
かきし扇てるさかきくのす
喃燭の火くさ良百十おる

丹後田邊藩
東武在番
森本大兵衛

森本似藻

田邊のうらやま
水々れそ柳のうらやま
うらやまのうらやま
うらやまのうらやま

清音舎 招石

招石のうらやま
うらやまのうらやま
うらやまのうらやま
うらやまのうらやま

東都柳原
岩井町
石屋市五郎

翠竹亭 如柳

如柳のうらやま
うらやまのうらやま
うらやまのうらやま
うらやまのうらやま

東都新橋
南鍋町
笠屋清次

瑤草菴 甲友

甲友のうらやま
うらやまのうらやま
うらやまのうらやま
うらやまのうらやま

駿陽沼津藩
田邊直之丞
辨草廬又把
菊嗣四友旧名

下総千葉郡
萩臺村
黒川半藏

東都西國柳
橋同朋町
号霜臺

書画
東都浅草
御藏御園内
井上一助号
小霞椿園又
花魁

武州入間郡
越生郷西戸
村織田外藏

雀酔急芝生

ひさしやまのりし伸多の桐の苗
火のりしやれいゑをちのちのち
鶴の数を河のちのちのちのち
夕汐死さるやふとつ死二とこる

松之本 壽堂

翌のりしやれいゑをちのちのち
名月や極く直ふ是の上
よの傍のりしやれいゑをちのち

蒼龍窟 松柯

梅はくや根さしはし村の人
舌多しやれいゑをちのちのち
旅のちのちのちのちのちのち
うけりしやれいゑをちのちのち

茶 康斗 藏

人形死つたつちのちのちのち
旅のちのちのちのちのちのち
岸やいさなふのちのちのちのち
山檀知つたつちのちのちのち

信州雪水

岡田 晨 支
存るな花聖りもえそくふ日のあ
房に足きふてやちりすまふり
葬り息しけりや解りの子
まよひしとみけら出さる巨燈が

神西屋 伸子 女

灯も月もたのみうきぬやまの
戸をさぬとさうもさし一子の
んきしよまをなくやとぬの
取の紙をきぬきぬまては別

東都御藏前
守邸氏
抱儀妻

花月菴 書遊

申く先しけり先ぬある二月
湖越ししるききぬやまぬ
しつゆや何ゆもあし山花月
まぬらりや色しししけり

東都本町二
町目商家
沖山長兵衛

梅月 惠如 春

掃くふりそぬのる映くやまぬ
まの香のるふきけりぬ暑く
楳侍や人先くぬきしけり
まの香の初まらしけり

同右
山田専助

シ

梅月

百六

勢州中萬

禮藏舎子恭

ち〜し〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜
け〜け〜け〜け〜け〜け〜け〜け〜
子〜子〜子〜子〜子〜子〜子〜子〜
取〜取〜取〜取〜取〜取〜取〜取〜

三界廣茹来

と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜
夕〜夕〜夕〜夕〜夕〜夕〜夕〜夕〜
初〜初〜初〜初〜初〜初〜初〜初〜
月〜月〜月〜月〜月〜月〜月〜月〜

奥州津輕郡
黒石
相井嘉十郎

菊 葉 昌 健

ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜
葉〜葉〜葉〜葉〜葉〜葉〜葉〜葉〜
と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜
ふ〜ふ〜ふ〜ふ〜ふ〜ふ〜ふ〜ふ〜

北 龍 舎 如 流

年〜年〜年〜年〜年〜年〜年〜年〜
家〜家〜家〜家〜家〜家〜家〜家〜
初〜初〜初〜初〜初〜初〜初〜初〜
何〜何〜何〜何〜何〜何〜何〜何〜

東都
紀伊国屋
中野氏

東都馬喰町
辻新七

東都豊嶋町
一町目
池田宗三郎

西中茶壽遷
くわんざい殿河けるあふく柳
下駄けけり川をりあふく柳
新島やいさくまきれいま川
おききやうまやみく森は月

岡庭 壽風

武州二合半
領長戸呂村
岡庭連吉

やうれめもよ何とあふくま
洋の中きくやあふく柳
魂初くむくやあふく柳
けえりししあふく柳

年虫のや松葉

東都神田多
町一丁目
松改屋彌助

柳あふくやあふく柳
ちりきりしあふく柳
あふく柳あふく柳
あふく柳あふく柳

古風 養春 和

あふく柳あふく柳
あふく柳あふく柳
あふく柳あふく柳
あふく柳あふく柳

東都愛宕下
仙臺中郎住
柴田彦五郎

シ

東都浅草
御藏前
朝倉鉄次郎
板木御摺師

朝倉壽文

ふくみきりつんせきまをわたりしるま
おりりつみの二三をぬぐふ芽輪江
いさむしと寝んすもやと立しん
度るまのくちもすやういさむかた

指東庵 助道

東都白々岡
藤田庄右衛門
入道 沙羅門
遊願柳菴霞
境ト辨ス

こつさむあまむや空電くしん
砥くも物なまきりや
かゝるのむしを菊の余香を
節まゆやついでまをを吸ふり

東都本郷
森川宿
上条氏

翠 兩園 松葉

山中に一本をまゝに
寝くも愛するさ
むしや紙燭のまゆ中
おしきりつちるるあま針を

東都三番町
栗田翁輔
号松壽 菱窓貫

菖 露 菴 旬 光

花の香やれくまのまゆのまゆ
まゆの月々のあつちのまゆ
あまの日向まゆのまゆ
小まゆのまゆのまゆ

東都深川
北川町

伊勢龜山藩
東都住
雨宮氏

春風軒 女柳

日やけくさや鳥追く
庭のまじき清水あくる
舟のまじききれぬ
入江の形
石にけくさるる花のまじき
氣鳴

言有亭 春江

垣紙に垣場かえそ花こころ
石投く川の浅きよ
まじき月
井掬むるまじき
まじき

東都本町一
町目
高野傳吉
号半月舎

東都官庫勤
士姓安藤
号不達又笑鵬
文年

月塘 氷狐

あーるうる花のまじき
まじき
の月やまじき
降

文 虹園 氷谷

猫のまじき
まじき
まじき
まじき

下總香取郡
津之宮
久保木彦五郎

久保木比古
折之河に河を也柳をまきこころ
片河をひて藤川のそを藤柳
五河川之君をひて山ふり柳
刺まきし葉火のそくまきこの柳

武州日光道中
大澤柏屋
大垣氏

麥花菴氷佳
ま垣せとくしの柳すくそを花
みしあひ柳瓜のふたあふり
ふのそくまのそけしるおをふり
峰の柳四五葉を柳しれまき

東都深川
北川町
飯嶋氏

雀西家雛藻
二三のそめ柳ふり人通利
葉系を柳ししそを柳そめ
柳ふりやをそをそめしそめし
葉つ合んやそそそめの日まき

讚岐丸亀
藤壺氏

菊壺茂雅
そくしのをそめし柳や柳そめ
柳のやそめそめそめそめそめ
そめそめそめそめそめそめ
西派の自撰そめそめそめ

東都中橋北
榎町御油座
相摸屋久次郎

沙壁 千輪
瓶子きりく言りあしんやまきあき
将量あきあき道あきあきあき
人あきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき

東都牛込原
町二町目
水野下郎
号推亭

正風 林扇 如子
あきあきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき

東都深川北
川町飯嶋氏
号九華亭又
老梅井

北川 居仙 庵
あきあきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき

能登熊木中
嶋宿
室屋助右門

あきあきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき

七

下総香取郡
小見川
阿波屋安兵衛

東都石町四丁目
大横町董齋
号中嶽外史
松本正助

嘯 久 青 岐
水ちかし花あそろのききよ
迎 一 多 家 其 か け け け け け け け
お 入 ま せ 一 紫 女 へ へ へ へ へ へ へ
水 俣 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

世 々 為 華 義

梅 壘 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
折 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
白 萩 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
長 年 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

東都通油町
上山氏名伸善字
仲美好詩作和歌
傍遊俳優有二子
云伸道伸長共好
發句俳諧

奥州磐城湯本
武藏屋宗助

秋 久 真 千 卦
二 三 寸 楊 活 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
何 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
詩 旨 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

十 桑 夕 山

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
田 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

弘前藩東都
本所石原
那須與一構内
伴 条藏

花さ 躑躅 菴 仙路
又とあつちつちあみの花のさきさき
ひききみもあつちつちあみの花のさき
多し何れも時とわかれさきさきの
くらら花をさきさきさきさきの

直 意 園 小 柯

東都若松町
宇通陀氏
画号登成

櫻さきさきさきさきさきさきさき
又さきさきさきさきさきさきさき
葉のさきさきさきさきさきさき
葉の形さきさきさきさきさきさき

玉 碎 亭 泉 井

下総市川
舛屋茂左門
号陶々軒閑窓

流伐さきさきさきさきさきさき
流伐のさきさきさきさきさきさき
流伐のさきさきさきさきさきさき
流伐のさきさきさきさきさきさき

夜 櫻 茶 弁 扇 姿

またさきさきさきさきさきさき
またさきさきさきさきさきさき
またさきさきさきさきさきさき
またさきさきさきさきさきさき

東都本石町一
町目河岸
赤大黒屋
安藤氏

セ

武州松山在平村
便所同慶松山町
吉見屋吉兵衛
東都便處堀江
三町目
鈴木屋伊助

武州二郷半領
小向村
酒井屋權四郎

房州長挾産
東都芝口三丁目
佐野屋重次郎

常陸土浦藩
号緑亭又練齋
掃石道人
潮田氏

貞 晨 高 干 瑞
阿まきお日もあふれどく〜
色道御行こもる紫のきりり
望ま〜子婦もたまきり〜
以〜く〜も〜や小筆に書おの

酒 永 亭 青 洲

花まけ〜きり〜
株う〜しお少〜
〜長〜
〜つ〜

雪 陽 高 聖 蕭

杉〜も〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜

櫻 朔 居 晴 河

紐〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜

七

看

東都朋神下
袋物肆
東屋藤五郎

以早和を好むにのこるるうみみお
あふ入るる生あうつるやかぶつさ
人形や山の向りか月のさと
雀垣のふりつけきる布申田うぬ

松園切竹

百廿七

下總香取郡
内山村飯田氏

ふかてし馬下供をくくするまきま
河あふかんくもきく竹極る
まもいりかあさう踊るまう紅白際
持はを余まよりくくかそこのこ

十と樓西湖

豊翠庵稍山

あふや位そくすくすく日のあつ
ことくをくあをかりんく桐あふ
石松昔のあさ掃おろすくをんが
るるまの二人おあは念うぬ

橋堂成雨

自由さやあふまよくあふもく
並ひくを秋よりあふ橋の毎
ふんふんふんをまきくあふんし
ゆさふんさふんあふん池の鴨

下總香取郡
植房村
号衆妙菴
山崎源左門

下総千葉郡
毛見川宮之末
能勢三左門

七

百廿八

東都

花のやけ 物こころもささるるささるる
藤人死 菓子多をさするささるる
萩く迎て 萩く白ゆき 穂く那
浪ありのささるる 切名や 石鼓の系

南 涯 精 齋

あさささ 杉画くかけぬ 板子さ
くねくね とも又ともくくく 雲くね
長みくく 阿の浮世やきかた
るくくの 姑きけくくく 阿のく

武州川肥城
西田中郎
田中新右衛門
画号麗南史

井 眉 菴 井 眉

くくくく ちやくんちやく 海の舟
あくくく みるくくく みるくく
おいたを 桐くくく みるくく
くくく みるくくく みるくく

春 秋 樓 子 号

序校のささるる 二条ささるる 二日月
序中にくくく みるくく 序くく
田みるくく みるくく みるくく
因西ささるる みるくく みるくく

大改周防町心
齋橋筋東江
号五春庄

東都芝山下
屋敷麻布一
本松住
岡崎環

セ

新見

洋峨亭青朗

まを白くめれしるのまを履く如
きくくをい用の強き後く如
名月やまらふまをのまをい
ゆるまのまを時をいゆるのまを

梅旭亭扇菱女子

梅抱くくくくくくくくくく
さふ柳のくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
あくとくくくくくくくくく

東都橋町二
町目算學師
清水柴山

東都芝住
棟、本連号
菊婦人

杉瓢亭成島

白梅さゆめ柳くくくくく
若くくくくくくくくくく
川河岸のくくくくくくく
吟めくくくくくくくくく

緑松園清湖

ゆく藤くくくくくくくく
きくくくくくくくくくく
井くくくくくくくくくく
まくくくくくくくくくく

東都本町
北割下水

湖東在太畏
江戸小名木川
金屋六右衛門

セ

百十九

下總葛飾逆
井小松川
河野善左門

東都小川町
大銀杏之邊
丹園藩坪井氏
号俳海閑人

東都産
關口次郎兵衛
岡崎藩臣
嗣閑月菴世塵
之跡又有畧
舎芦廼屋之号

常陸人江戸白
魚屋鋪住
大久保良助
号國香舎

世園仙風

うらふ家々人抱ふ赤藪入る水
夕夕をのりしる人まゝる田々
乳りいれみみんさういゆ目おハ
餅搗やまきも備もききく

柯月ききき

うらうらうらうのまじし柳柳
石のまじし宿の軒うらふ赤藪
うらうらう越す沖津の川お柳
懐帰しあはれ甲ののまじし

松雨菴世塵

月月やいさきかたのまじし表
うらうらううらううらううらう
おらうらうらううらううらう
うらうらううらううらううらう

閑 菴 小 叢

うらうらうのまじし入る水
うらうらううらううらううらう
うらうらううらううらううらう
うらうらううらううらううらう

雪石亭青義

東都小傳馬町
大阪屋十五郎

眼如先、其の如く、其の如く、月夜を
其の峰、其の如く、人の如く、其の如く
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
柳、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く

解 菴水哉

駿陽沼津藩
東都外櫻田住
小林篤右衛門
号推、本

其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く

東都神田紺屋
町二町目
加賀屋
牧野安之助

柳 澤舎翠鳩

うゑ雛や、其の如く、其の如く、其の如く
六月、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く

六 九菴隨風

東武浅草新堀
号風詒坊又恬淡
齋光山

其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く

北總府馬郷
岡田新兵衛

竹 醉 居 須 直

茅花出ぬも塘にきくけつ新泥草
多結ひしき入る山やほろもま
盆うち進ハ舞しる子け糸
布巾花ふりちりぬるひり

平 生 茶 随 莊

かふとれた毒や啼らん朧月
洋中花びら多きみのうせま
月十日しこれの真のあふひ
風もくうふそまきくう糸の

東都浅草

附 録

空行屈し陣出れきくもあはれくさ	起ころそと糸花のあたまの月	ちろくしとまきくもあはれくさ	節まきし中隠れり門の柚子め	ちろくしとまきくもあはれくさ	吹河まは井水顔度しりあはれ	明月やまきくもあはれくさ	叶しとまきくもあはれくさ
江天 麻交	有月	江天 晚成	東一	江天 龜丸女	江天 ちろく女	青半子	淵長子

越之字一山をさしはさくくも
 福かんや柳のちも松も一ろま
 落葉一管もさくかへる護る柳
 掃てのささくみくも庭を秋
 落るからいし水之主休きま
 聖植の田もは流りて一庚もけり
 了るをさしきまもさくも
 淡甲入るくも柳の形も
 吟流りて人さくも

梅輝子
 南枝
 光子
 柳女
 亀云
 史矢
 水
 景山

鶴衣脱く一さくも一
 ちくもこれをもさくも
 ち茶さしけさくも一
 ひと茶流りまもみよりり
 炭つんさく松もやあも入る
 入らぬもさくもいも
 植るもかきも一牡丹をり
 柳一さくもいもさくも
 忙羣もさくもいも

有節
 壘巢
 碩布
 塞馬
 天羊
 大政
 脚
 桐堂

燈籠やんせうのさうじつに
砂浜の草花をせんそうの
るもたのちりてはるまじ
みくしと海岸のちり百足
くしけの障子に片して
波の音のやぶにけりて
ちりまのしるしを
十六夜やうのさうじつに
を鳥や水あそびに人
四澤

信州

上

下

伊勢

呼

省

淇

梅

四

澤

猿人かきつねのしるしに
く免はくやうのさうじつに
河のちりまのさうじつに
波の音のやぶにけりて
音をたのちりてはるまじ
藤はるのちりてはるまじ
席のちりてはるまじ
日とちりてはるまじ
子とちりてはるまじ

信州

加

河

見

蟻

桃

夜

交

二

牛

照

鳥

兄

山

風

中しききみもねを木わらうしりか
すししさを我の良んをりけり
まきみ香ん水もくさけて流進るわ
島一羽とる氣も出さるり
あふ木もとまりにんひささるり
けらきさるりんをきくもる水鶴子
何と海を渡ふかきしかな老けり
色濃おとる霧もくさるり社名
末牙
雲彩
大慶
馭六
芥舎
茂翠
芊綿
蕙雨
蕙圃

踏水く白くうしりか
火吹舟のこけりききく
秋の夕我もくさるり
忘れぬふがらうり
葉のまねのけりてきし
芦系、木もくさるり
く知んぬるりよめく
あま人も旅もくさるり
はるうもくさるり
是道
春谷
己方
万瓢
京
太老
萬丈
陸奥
馬年
江
蘭山
雪湖子

布巾精進の井くく一とくきく
梅のさかふらちかけくくく山竹の
蕨くけやんくくくらく人な勢
麻州やぬくくくこのまこくく
ゆくまかぬくくく降ぬ月ゆる
みくくくくくくくくくくく南
ハ朝や東を北あくまの北は上
故まやらの月かすくくく吉良
くくくくくくくくくくく合羽大河

因西とくくくくくくくく道田
山をくくく三粒をくくくくく
一里山越くくくくくくく一風
紫陽やくくくくくくく紫山
追ふり羽織みくくくくくく月
我もゆくくくくくくくくくく
火を用心くくく布巾の月、子月
水は女流のくくくくくくく
ゆくくくくくくくくくくく徐全

共庫 芝耕 徐全

さりるや糸糸こさしそるるま
此柳やかさす女現くぬの中
月よあまの柳のま柳のま
羽折 菊さし田のふりやまの月
河ささきあまさし河のま 軒終る
こみ合ひぬ宿みささしまの月
人ともあ 廊りをもふま 猫を妻
里川の毛もままな甲あし柳
禰妻あやふゆの足も河さし柳
江 疎 蓼 柳 丸 女 郎 臣 乳 葉 月 賣

一 舞さし日うれしきまは舞
道中を多勢あまさしうま野ま
紫河まやま浦し多さゆ呂の炭
鯉程さし体さしこと入る岸う柳
あまさしうまの啼ぬま糸子さし
川向もあまさしうまのま 有 壘
はるるんや儂上さしあまのま
まささしうまのまさしうまのま
山吹の具さしうまのま
若根 丹 葛 所 月 桂 堂 湖 友 之

あつたての年をうらなひてかや山のま
ねををうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま

後 飛 且
常 三
江 柳 賀 塊
文 賀
杉 雨
夜 来
相 花 川
江 栢 柴
由 成

風をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま
あつたての年をうらなひてかや山のま

武 所 衣 月
江 下 笠
江 沙 郷
駿 青 栢
駿 山 菜
江 曉 峰
江 月 美
江 蓮 切
江 清 耳

江戶 文 晶
 浪よけ 閑 那
 紅 白
 菜 山
 蓬 菜
 干 枝 女
 露 月
 風 谷
 水 牛

句域送世かき起ちて是非試わの却世難
 あそびの有とあそびの世一人の世一代乃
 句域送世の見し 閑すねに何らぬを其
 作者此手好集以書以子好以作者徳
 手好のそと却てはた却てはた此句
 此句と我其一人也其集なりと沙汰置
 其集 免未ぬるもたは措も也 惟字子此

天保九年

以形夢の事古人也意の用紙同書
以書母の事おれ禮の蟲負也ひ加こと
母の事おれ禮の蟲負也ひ加こと

西申九月

大梅溪

俳諧人名録後編

近刻

